

都財務局の上期工事契約速報値

全業種で不調発生率上昇

建築A等級は26ポイント上昇48%

東京都財務局は、2024年度上期の東京都工事契約関係資料（速報値）をまとめた。全体の不調発生率は、前年同期と比べて2.91ポイント上昇し、13.32%となった。建築、土木、道路舗装、設備の全業種で前年同期より不調発生率が上昇して2桁台に乗った。なかでも建築業種は25%を超えた。

総開札件数は1757件だった。業種別の不調発生率は、建築が8.76ポイント上昇の25.87%、土木業種（道路舗装除く）が1.14ポイント上昇の10.31%、道路舗装が7.91ポイント上昇の14.89%、設備業種が2.41ポイント上昇の12.98%、落札率は前年同期から築が8.76ポイント上昇の25.87%、土木業種（道路舗装除く）が1.14ポイント上昇の10.31%とな

契約方式別では、政府調達対象の一般競争入札が14件開札して11件が落札し、不調発生率は16.67ポイント上昇の21.43%、落札率は1.68ポイント上昇の95.89%だった。政府調達以外の一般競争入札は、104件開札して74件が落札、不調

24年度上期の業種別不調発生率と前年同期比

	不調発生率	前年同期比
総数	13.32%	2.91ポイント増
建築業種	25.87%	8.76ポイント増
土木業種 (道路舗装除く)	10.31%	1.14ポイント増
道路舗装	14.89%	7.91ポイント増
設備業種	12.98%	2.41ポイント増

発生率は13.47ポイント上昇の28.85%、落札率は0.03ポイント低下の95.30%だった。希望指指名競争入札は1639件開札して1438件が落札、不調発生率は2.09ポイント上昇の12.26%で、落札率は0.29ポイント低下の92.59%だった。いずれも

不調発生率が上がっており、工事規模が大きいほど発生率が高い。

業種別・等級別の不調発生率を見ると、建築はE等級を除くA-D等級がいずれも発生率は上昇しており、なかでもA等級が26.54ポイント上昇の48.28%、B等級が7.73ポイント上昇の35.00%と発生率が高くなった。C等級は27.27%（前年同期比7.77ポイント上昇）、D等級は22.64%（9.53ポイント上昇）だった。土木（道路舗装除く）は、A等級が19.25%（10.11ポイント上昇）、B等級が9.94%（3.02ポイント上昇）となるなど、上位等級ほど不調発生率が高くなった。設備業種は、A等級が14.64%（2.92ポイント上昇）、B等級が12.82%（5.16ポイント上昇）となった。

開札件数が100件以上の業種（詳細）で最も不調発生率が高かったのは建築工事の27.98%だった。